

世界遺産 那智山



〒649-5301

和歌山県東牟婁郡那智勝浦町那智山

☎代表 0735-55-0321

FAX 0735-55-0643

振替 00980-8-75449

<http://www.kumanonachitaisha.or.jp/>

熊野那智大社



御由緒

紀伊半島の東南を古来熊野という。熊野とは奥深い処、隈るとも申しそこは神秘性のある所、即ち神々の住まえる所であり、あこがれの土地として尊んだ処である。往古神武天皇が御東征の折、この地上陸され、那智の滝に大巳貴神を祀り八咫鳥の案内で山々を越えて大和に入られたのであります。

仁徳天皇5年那智の滝より社殿をこの地に移し、夫須美大神を祀られたのが「熊野那智大社」の起りです。後に仏教、修験道の隆盛と共に熊野権現として崇められ上皇、女院、武将や庶民の参拝が増し継続として詣でる様子を「蟻の熊野詣」と称しました。

御社殿は熊野造りと申し、現在の建物は豊臣の世に再興し享保・嘉永の大改修を経て昭和10年の御修葺で、平成7年国指定文化財となっています。社前には後白河上皇御手植と伝える枝垂桜や平重盛の手植と申す大楠、八咫鳥にまつはる烏石等があります。

新宮市の熊野速玉大社・本宮町の熊野本宮大社と共に熊野三山の一社で、全国約4千社と云われる熊野神社の御本社でもあり、日本第一大霊験所根本熊野三所権現として崇敬の厚い社であります。

又、近くには南紀勝浦温泉があり、黒潮洗う太平洋を眼下にする御社域は吉野熊野国立公園特別地域です。

御神徳

古来当社は御祭神「夫須美大神」「結ぶ」として諸願成就「結の宮」と称し、諸々の願を結ぶ宮として崇められました。那智の御滝は自然を尊び無事息災を祈る人々が多く、又八咫鳥の神事等により導きの神として交通・海上の安全の守護を祈り、更に御神木の椰の木は無事息災を表すものとして崇められています。

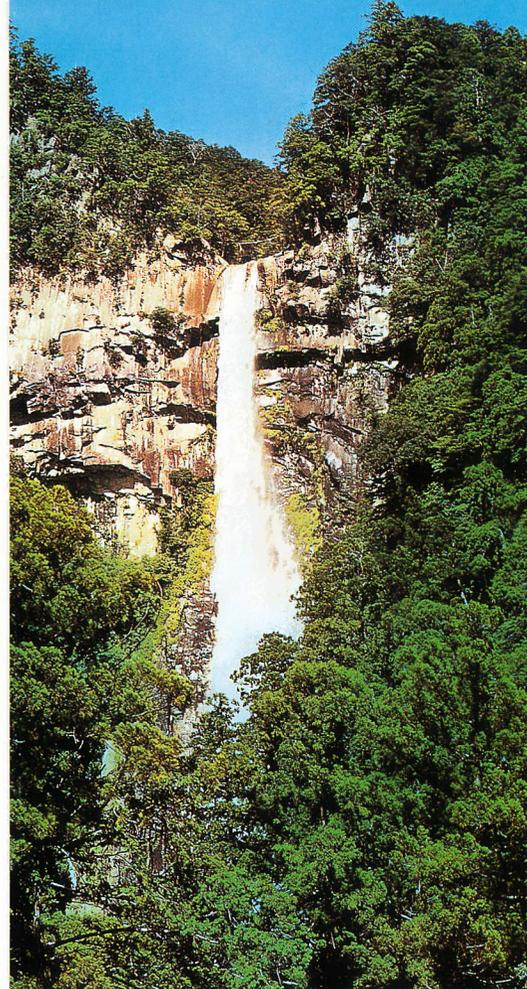
熊野の自然と共に神々の恵み深い御神徳のある御社であります。

祭典

月次祭 毎月1日・14日・18日午前9時

御祭神

- | | |
|---------|----------------|
| 第一殿 滝宮 | 大巳貴神
大国主神 |
| 第二殿 証誠殿 | 家都御子神
素盞鳴尊 |
| 第三殿 中御前 | 御子速玉神
伊弉諾尊 |
| 第四殿 西御前 | 熊野夫須美神
伊弉冉尊 |
| 第五殿 若宮 | 天照大神 |
| 第六殿 八社殿 | 天神地祇八神 |



那智の御滝「飛瀧神社」

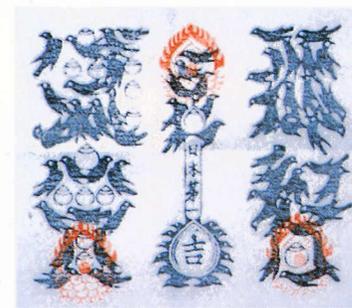
那智の奥、大雲取連山から流れ出ている流水が大滝となっており、全山に那智48滝と申す様に数多の滝があり、一番高いのが那智の滝で、一の滝とも申し高さ133m、銚子口の幅13m、滝壺の深さ10m以上であります。

この滝の上流には二の滝、三の滝があり国の名勝となっており総称して那智の大滝と申します又下流には滝修行で有名な文覚滝がある。流下する水量は普通毎秒1トン程度といわれます。御滝そのものを熊野那智大社の別宮飛瀧神社と申し大巳貴神としてお祀りしております。

水は生命の母と申し、那智山信仰の根元であり古来延命長寿の信仰が篤く数多の滝修行者や参拝の人々が詣で、今日も、この御滝の水は長生の霊水として尊ばれています。

この附近一帯は吉野熊野国立公園特別地域であり、那智の大滝は国の名勝、附近の山は那智原生林として国の天然記念物であり、高浜虚子は「神にませばまことうるはし那智の滝」と詠んでいます。

那智の火祭はこの参道で毎年7月14日(午後2時頃)に斎行されます。



那智の火祭

那智の火祭は扇神と12体を大松明12本でお清めする行事です。扇神とは水の霊たる那智の滝の姿を表し、大松明の火でもって清め、更に打松という「水しぶき」の形をしたもの即ち水の精を表わしたもので神霊を振り起す神事で別宮飛瀧神社(那智の滝)の前で行われます。

烏牛王

俗におからずさん、又は千羽鳥とも申し、この神符は鳥72羽を以って神文を書き、熊野詣の印として受けて帰り、家々の神棚や入口などにお祀りするもので、悪魔退散、結(むすび)の熊野権現の信仰を古来より伝えて居り起請文に用いられていることなどで有名であります。

例大祭(扇まつり-那智の火祭)

7月14日(晴雨にかかわらず)

- 10時 御本社祭典
- 14時 御火行事
- 15時 還御





宝物殿

熊野文化は奈良時代に始まり、その遺物として那智経塚の出土品があり、更に熊野那智大社文書(国指定文化財)等、熊野権現信仰の歴史を語る重要資料を展示し一般の閲覧に供しています。



那智田楽(国の重要無形民俗文化財)

那智田楽は室町時代から伝えられた古式そのままに演ぜられ、所作も服装も楽器も伝統を良く守り、地元那智山の人々により毎年7月14日の例大祭に演ぜられます。

御祈禱〔所要時間約20分程度〕

個人 神札一体につき5,000円以上

団体 1名につき500円以上

御神楽〔所要時間約20分程度〕

一団体につき10,000円以上

〔詳細についてはお尋ね下さい。〕

拝観料

那智御滝拝所参入 1名300円

宝物殿参入料 1名300円

団体割引もあります。

その他

神符・守札・授与品は御社頭で頒布いたしています。